

長寿の秘訣？

「お前サン、マメだったかい？」再会を喜ぶ声が聞こえていました。コロナ禍のため開催できなかった敬老会が、市内各所で再開され喜んでいきます。今年度、市内で米寿を迎えられた方々は378人。 (昭和10年4月2日、昭和11年4月1日 (生まれのみなさん) 100歳を迎えられた方は42人。あの関東大震災が発災した大正12年生まれのみなさん。また、市内に101歳以上の方はなんと54人おり、最高齢は106歳 (大正7年生まれ) の女性です。 (9月6日現在の人数)

私は毎年、敬老の日に「百歳表敬訪問」と称し、希望されるご家庭に市のお祝い状などを届けるため、1日かけてお邪魔しています。毎年楽しみにしていますが、市長を7年やってきて多くの100歳のみなさんに触れ合わせていただくとか何か感ずるところがあるのです。長寿の方々の共通点とでもいうのか。あまりの元気に驚くことが多く、そして礼儀のすばらしさに感服することも。着物姿で、まさに襟を正し、玄関先では端正に正座をされ「よくおいでいただきました」と口上を述べられる方に何人もお会いしま

した。悴さん達の挨拶を遮り (私が言うのが先とたしなめるように) 驚くほど立派に、威厳に満ちて。ただほとんどの方が「町長さん」と私を呼ばれますが。(この方々にとって市制施行はついこの間の話なのです。)

さて共通点のことです。みなさん明るい。そしておかしみを理解する。話にどこかユーモアがある。ご家族は「よく笑います」と。食事をおいしそうに食べられる。そしてどのご家庭でも異口同音に感謝の心を挙げられる。「ありがとう」を忘れない、加えて「悪口を言わない」と。私もかくありたいが、汗顔、頭を掻きたくなることばかり。

最近の厚生労働省の発表では、今の高校生の世代は、今日の生活を続けた場合、寿命は100歳になるのだとか。本当？と思うが、私が幼いころ例えば70歳といえは今よりはるかにお年寄りだったことを思えば、人生百年時代は確実に到来するのでしょう。健康で生き生きと迎えなければ。先輩を見習って日々の笑いと感謝でできたら同い年の妻と夫婦共白髪で時の「市長さん」を我が家に迎えてみたいなあ。

国際大学留学生 お国自慢コーナー ~boast of my country~

シリーズ 第126回

マリ共和国 ボカール ディ ビンケ バロ さん

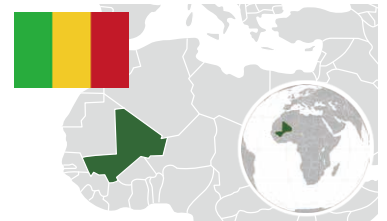


私の国はこんなところ

マリは西アフリカの内陸国です。マリ帝国はサハラ砂漠の横断交易の中心地として、金と塩の都、教育の都、西アフリカにおけるイスラム布教でよく知られています。紀元前13年に設立されたサンコレ大学は、世界初の大学とされています。また、現在、アフリカで綿花の生産量は第1位、金の生産量は第3位を誇ります。鉱業法の施行が緩やかなため、鉱業への外国投資が拡大しています。さらに、大モスクやフランス植民地時代の建築物など、文化的な観光スポットがいくつもあります。国民食はティガ・デゲで、ピーナッツペーストとトマトのソースをベースにした料理です。

南魚沼市に住んで感じたこと

南魚沼では、地域の文化や日常生活にどっぷりと浸っています。たくさん魅力あるイベントに参加してきた中で、浦佐裸押し合い大祭は特に印象的な体験でした。また、南魚沼はスキーやスノーボードが楽しめる特別な場所であることは確かです。冬のアクティビティはこの地での生活をより楽しいものにしてくれます。おいしい八色スイカや田んぼのきれいな景色も印象深いです。



編集後記

最近、南魚沼市ではクマの目撃情報が多く人身被害も出ました。クマは車と同じスピードで走る動画を見たことがあったので知らべてみたら、時速40~60キロメートルで走るそうです。車に乗っていても周囲を注意しながら運転しましょう。(T.O)

今月の表紙

今回で第55回となった南魚美術展覧会は、地域の美術の振興と文化の向上を図るために開催されている公募展です。9月14日(木)に公開審査が行われ、出品者や市民など多くの方が来場し、真剣に解説を聞いていました。

市民の動き 令和5年8月末日現在 ()は対前月比

●人口 53,368人(-46) / 男 26,123人(-24) 女 27,245人(-22) ●世帯数 20,204戸(-11)